

# 多収で病虫害抵抗性の でん粉原料用カンショ「こないしん」

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

生産 品目：サツマイモ

## 技術の概要

農家数の減少、サツマイモ基腐病（以下、基腐病）やつる割病等の被害の拡大により、現在のでん粉原料用カンショ品種の生産量は減少し、でん粉工場では深刻な原料不足に悩まされている。



基腐病発生圃場の様子  
(発病株が茶色く変色し、  
欠株となっている)

でん粉原料用カンショ「こないしん」は、現在の主力品種「シロユタカ」よりも、いもの収量およびでん粉収量が2割～5割ほど優れている。また、病虫害抵抗性にも優れ、「シロユタカ」よりも基腐病とつる割病に強く、サツマイモネコブセンチュウに強、ミナミネグサレセンチュウにやや強の抵抗性を示す。

## 効果

### ◎基腐病発生圃場に導入可能

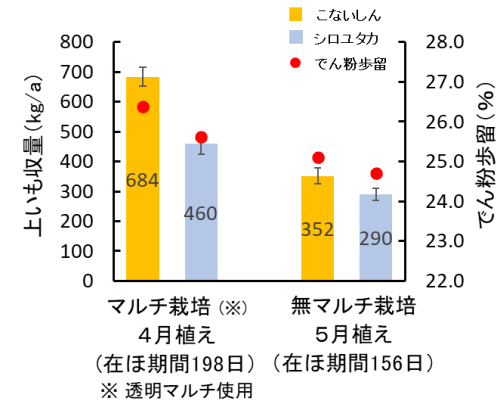
基腐病にやや強い抵抗性を有するため、基腐病が発生した圃場であっても、「こないしん」の導入により、基腐病による被害を低減させることができる。

### ◎でん粉原料の安定供給に寄与

基腐病、つる割病、センチュウに強いため、でん粉原料用カンショの安定生産が期待できる。



こないしんのもの形状は楕円形で、  
目は浅く、皮色は茶橙色です。



上いも収量は、マルチ栽培・無マルチ栽培ともに「シロユタカ」よりも優れる。でん粉歩留は「シロユタカ」と同等か、やや優れる。

## 導入の留意点

- ・ いものなり首が強いため、収穫時にいもが離れにくい
- ・ 基腐病に全く感染しないわけではないので、基腐病が発生した圃場からは種いもを採取しない

## その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

- 鹿児島県のカンショ産地で2,000ha普及の見込み
- 焼酎原料として利用する取り組みも開始されている

## 関連情報

① 最新農業技術・品種2021：  
多収で病虫害抵抗性のでん粉原料用カンショ  
「こないしん」（令和3年）

② でん粉原料用カンショ新品種「こないしん」  
標準作業手順書（令和2年）

